

漁業経済 学会短信

No. 16
71.3

第十八回大会

シンポジウムに寄せて

第十八回大会におけるシンポジウムについては、昨年十一月末の常任理事会、十二月十五日・三月五日の在京理事会において検討を重ねてきた。その討論の論点は多岐にわたっているが、集約すれば、戦後二十五年「高度成長」を経過した現時点における日本漁業の構造を総体として把握しなおさなければならぬということである。近藤康男編「日本漁業の経済構造」が出版をみてより、日本経済における漁業の位置が単に大きく変化したといふことではすまされない変化に当面している。公害・水産物価格の騰貴、系列化の進展、労働力不足という諸事態、総じていえば現代資本主義の下における漁業生産力の解体と展開の

交錯した現象に直面するとき、「日本漁業の経済構造」把握が問い直されなければならぬ。新しい諸現象を「日本漁業の経済構造」における方法論では把握しえなかったとするならば、方法論的検討も加えられなければならない。あるいはその後の変化を絶えず分析、把握しなかった我々学会員の怠慢にこそ問題の根源を求めるべきかもしれない。さらにいうならば、漁業経済研究の問題意識、研究の任務こそ問い直されなければならないというべきかもしれない。

とまれ、この数年間におけるシンポジウムは、漁業における独占の問題、流通問題、沿岸漁業問題、あるいは協同組合の問題にせよ、日本経済と漁業部門との関連、総体としての漁業構造の明確な把握、展望をもつことなしに部分的に論ぜられるにとどまるうらみがあつたことはいなみえないであらう。

な距りがある。しかし、それへの取り組みは今大会で終るものではなく、二十回大会にいたるまで、学会をあげて取り組むことについても意見の一致をみている。

我々大会運営にあたる者にとって、第十八回大会に対するきたんない意見を心から待ち望むものである。

年末カンパの報告

三月三十一日現在年末カンパに、一七〇口、八万五千元を六〇人の会員が応じて下さいました。目標額には達しませんが、おかげで十八巻四号発行の資金的見通しがつきましたことを御報告申し上げます。

なお、十八巻四号には鹿兒島大・市川氏近大・多屋氏、水大・小野氏の力作を予定しております。

「北海道水産現勢 昭和四四年版」

御希望の方は「北海道立総合経済研究所・水産経済課」(札幌市北三条西六丁目)にお早く御申込み下さい。価格は一五〇〇円。池田均氏が学会員のために三十部を確保してくれております。内容は、漁業現況、共同漁業権漁業着業統数、自由漁業着業統数、水産製品生産高統計、水産加工施設現況等です。

漁業経済学会第18回大会予定

開催日時 昭和46年5月20日(木)より5月22日(土)まで

場所 千葉県勝浦市 国民宿舎 鳴海荘^{なるか}

(電 04707・3・2168)

日程 5月20日(木) 個別報告

5月21日(金) シンポジウム

5月22日(土) イクスカーション

シンポジウム 仮題「日本漁業の経済構造」

× × × × ×

× × × × ×

× × × × ×

- 個別報告の申込 1) 3月31日までに題名を葉書で、事務局(慶大)までお送り下さい。
- 2) レジューメは4月30日(必着)までに200字:4枚程度でお送り下さい。
- 大会参加の申込 1) 申込書、大会の場所の地図を4月15日発行予定の短信と共に送りいたします。
- 2) 事務局としては参加予定者を、出来る限り早く確定したいので、4月15日以前でも、参加なさる方は事務局に葉書でお知らせ下さい。

学 会 誌 原 稿 募 集

漁業経済研究第19巻1号、2号の発行計画は次の通りです。会員各位の研究成果をふるってお寄せ下さい。

原稿 〆 切 第 1 号 昭和46年5月末

第 2 号 " 9 月末

編集上、投稿予定を第1号-3月末、第2号-6月末までに事務局にお知らせ下さい。